

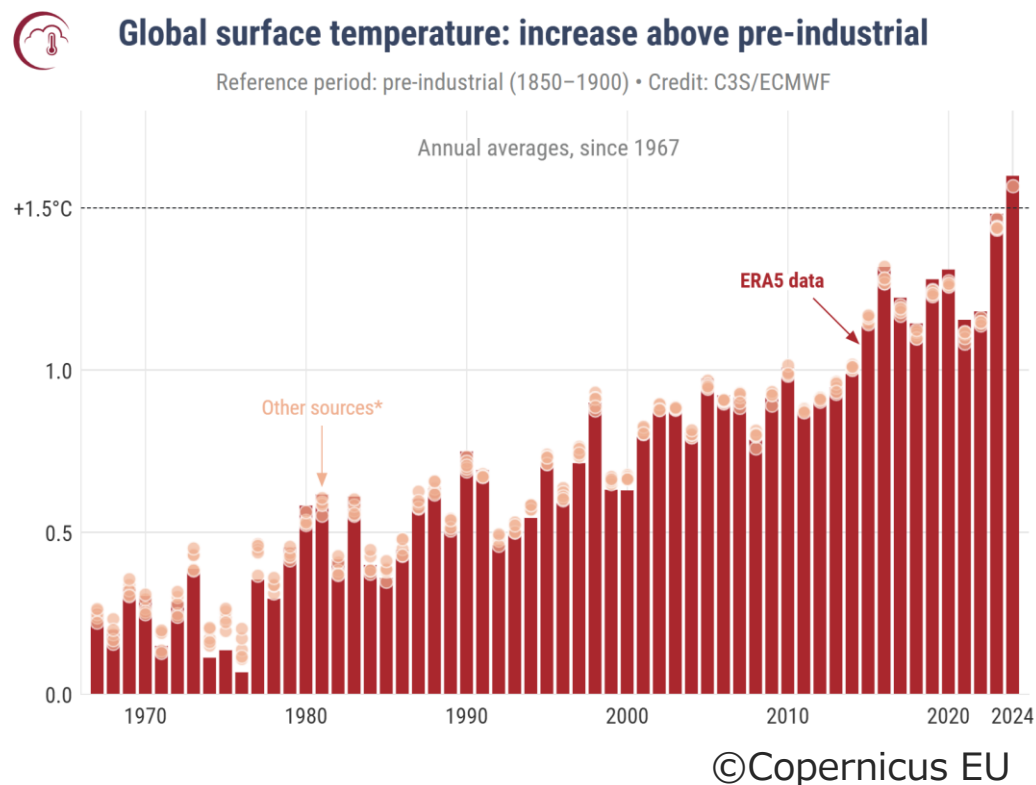
世界を取り巻く気候変動問題について

東京大学 未来ビジョン研究センター 教授

江守 正多

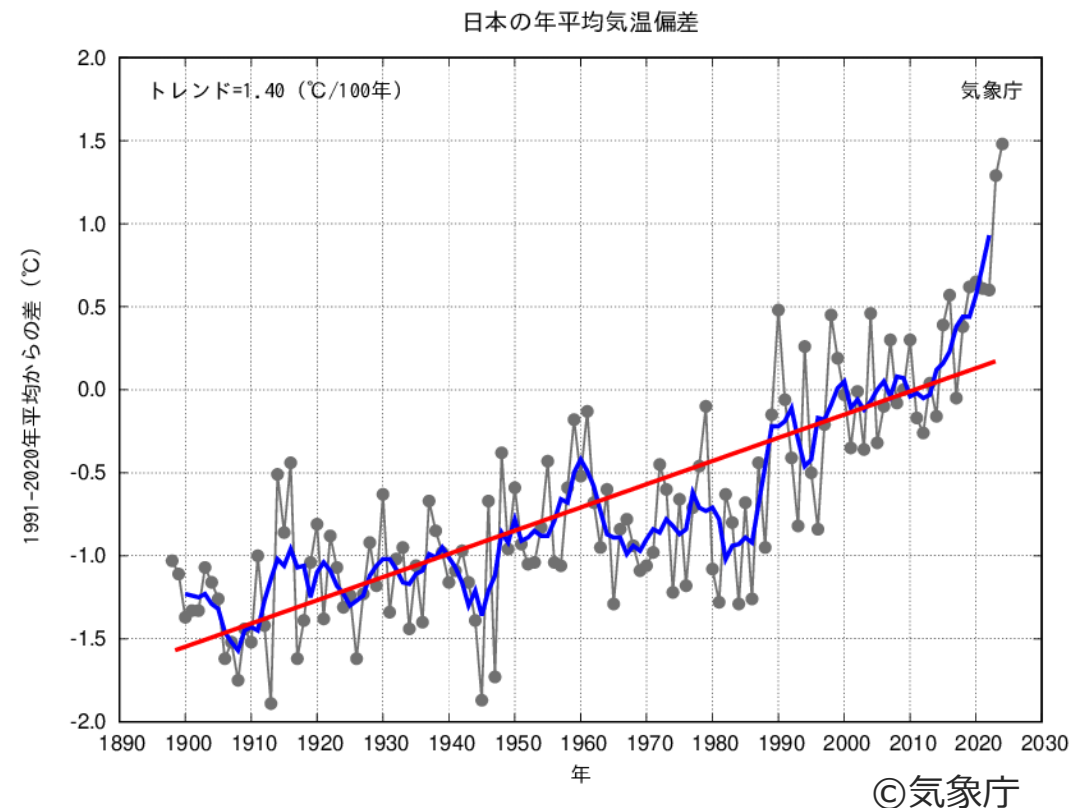
世界も日本も去年は記録的な高温

世界平均気温

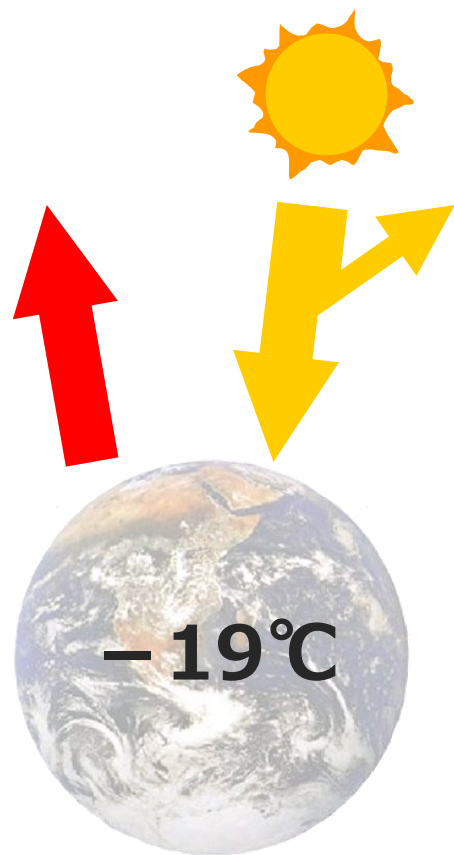


2024年は産業革命前から+1.6°C

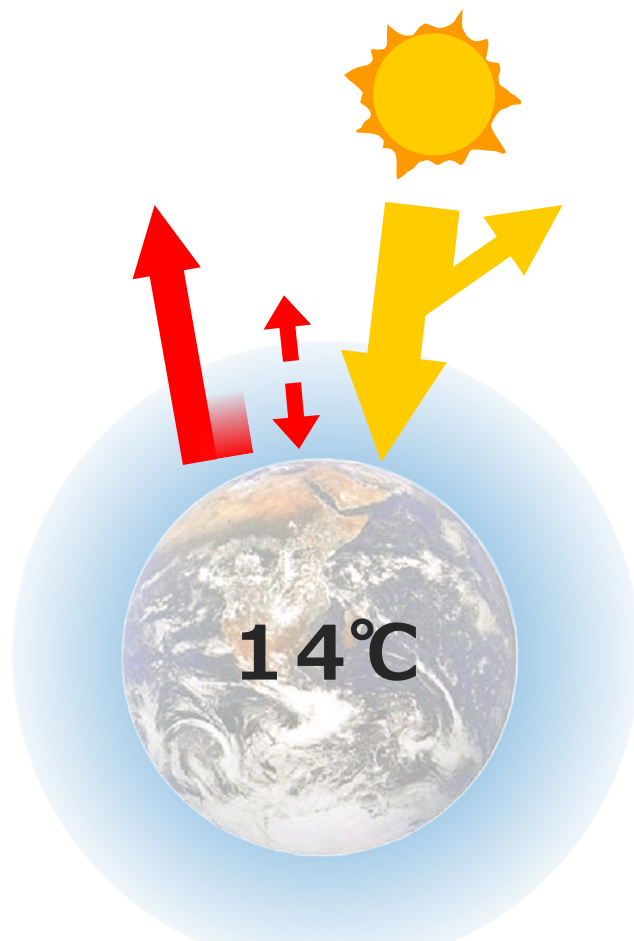
日本平均気温



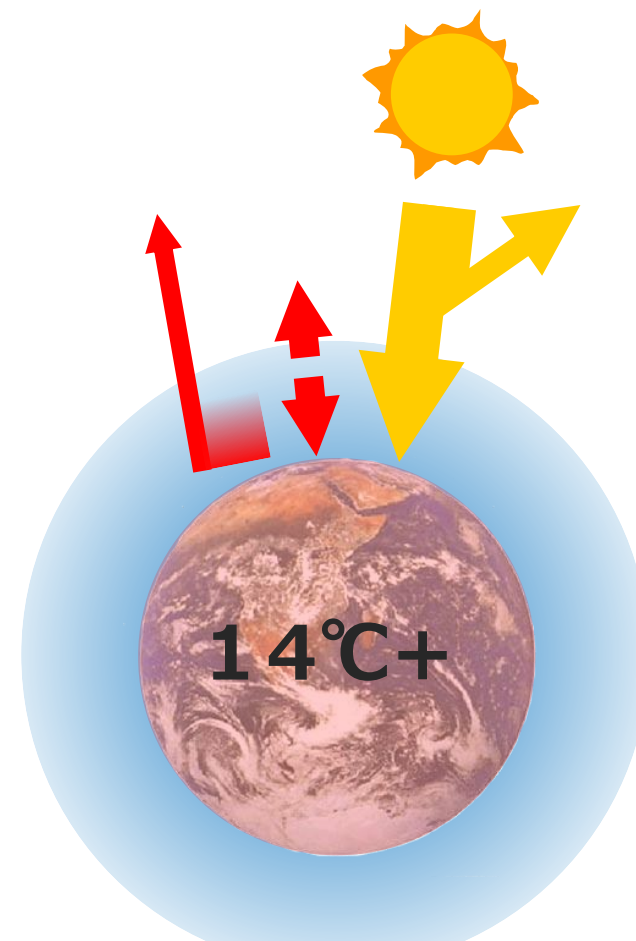
地球温暖化のしくみ



1. 温室効果が
無かったら...



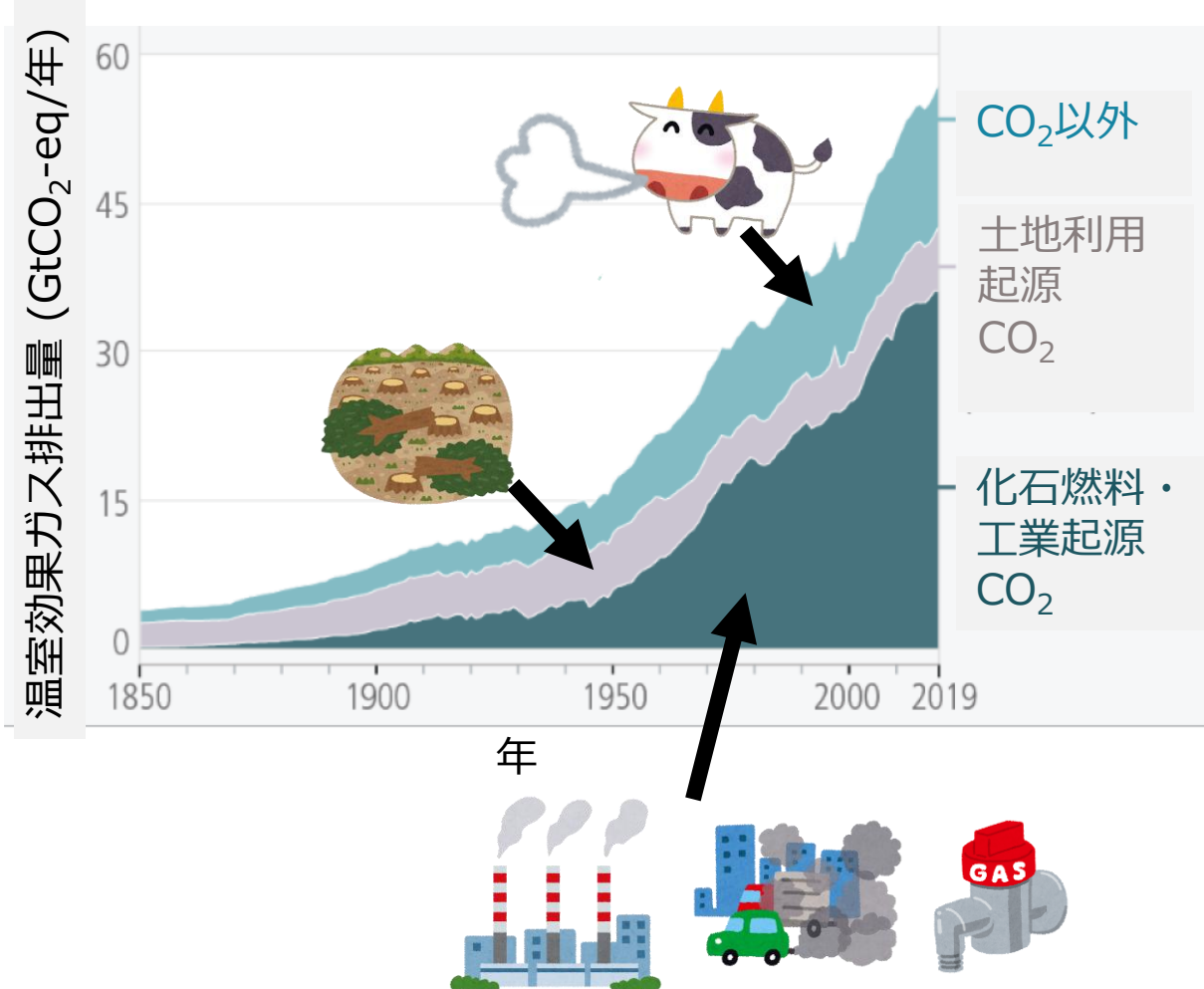
2. 温室効果がある
ので...



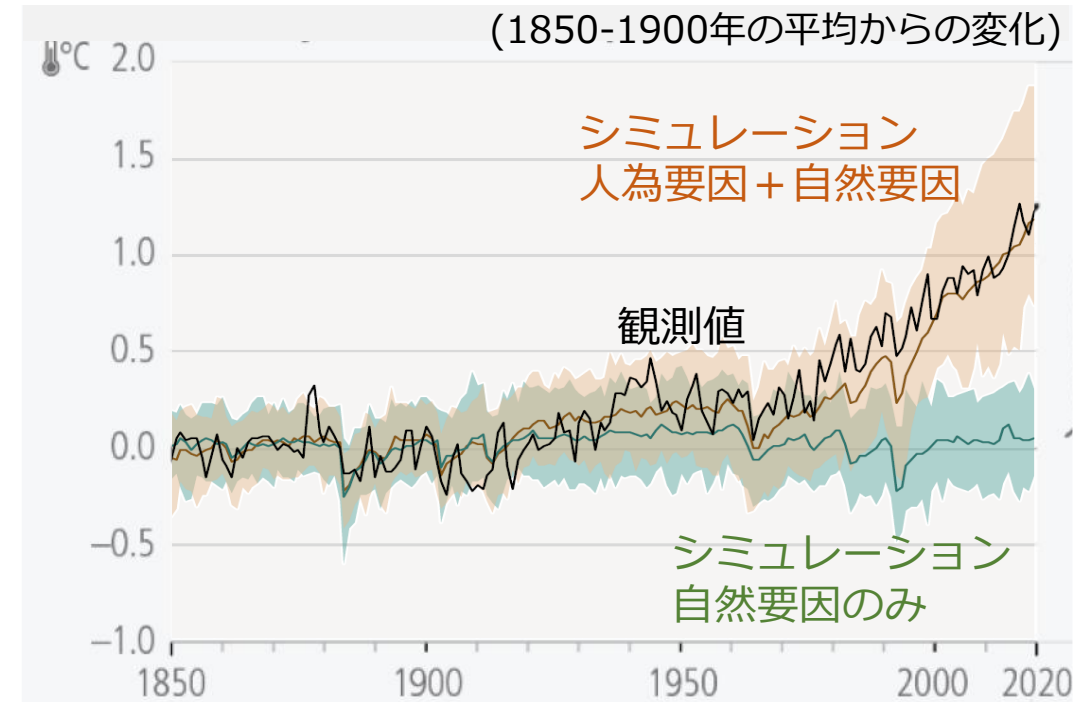
3. 温室効果が
強まると...

人間の影響による温暖化には「疑う余地が無い」

人間活動による温室効果ガス排出量

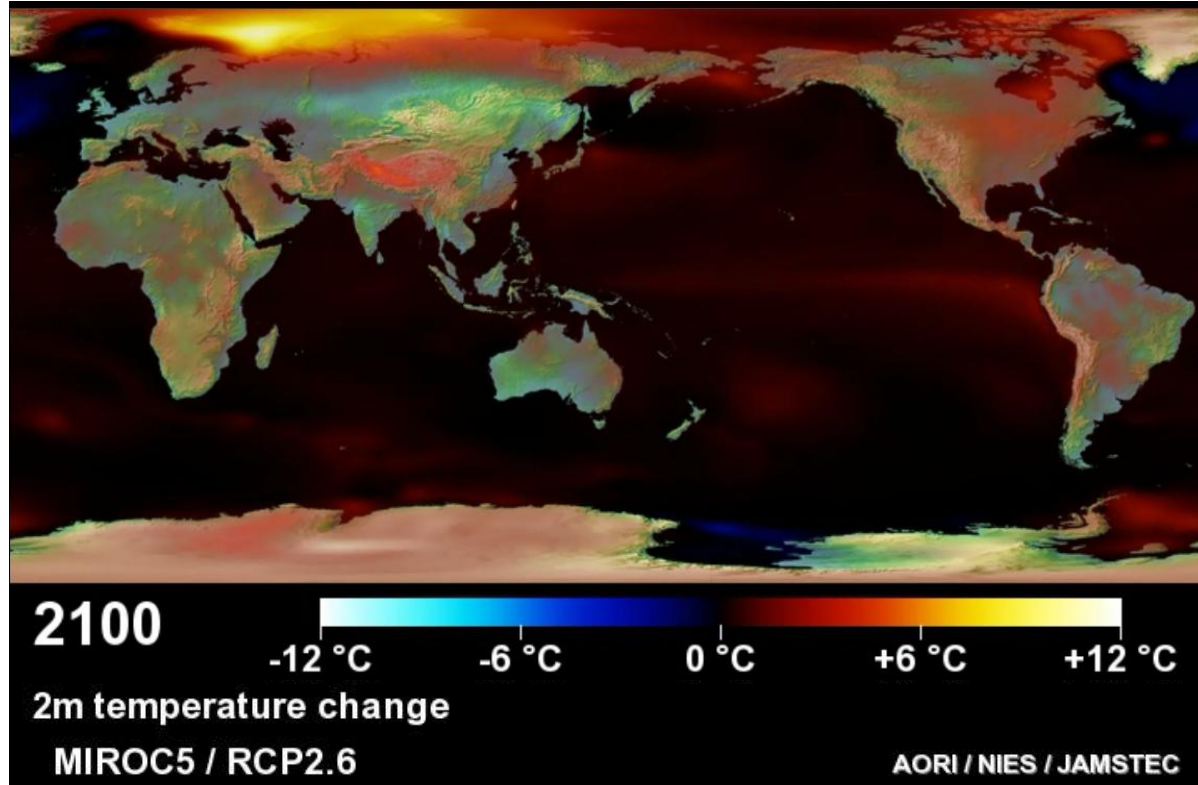


産業革命前からの世界平均気温変化

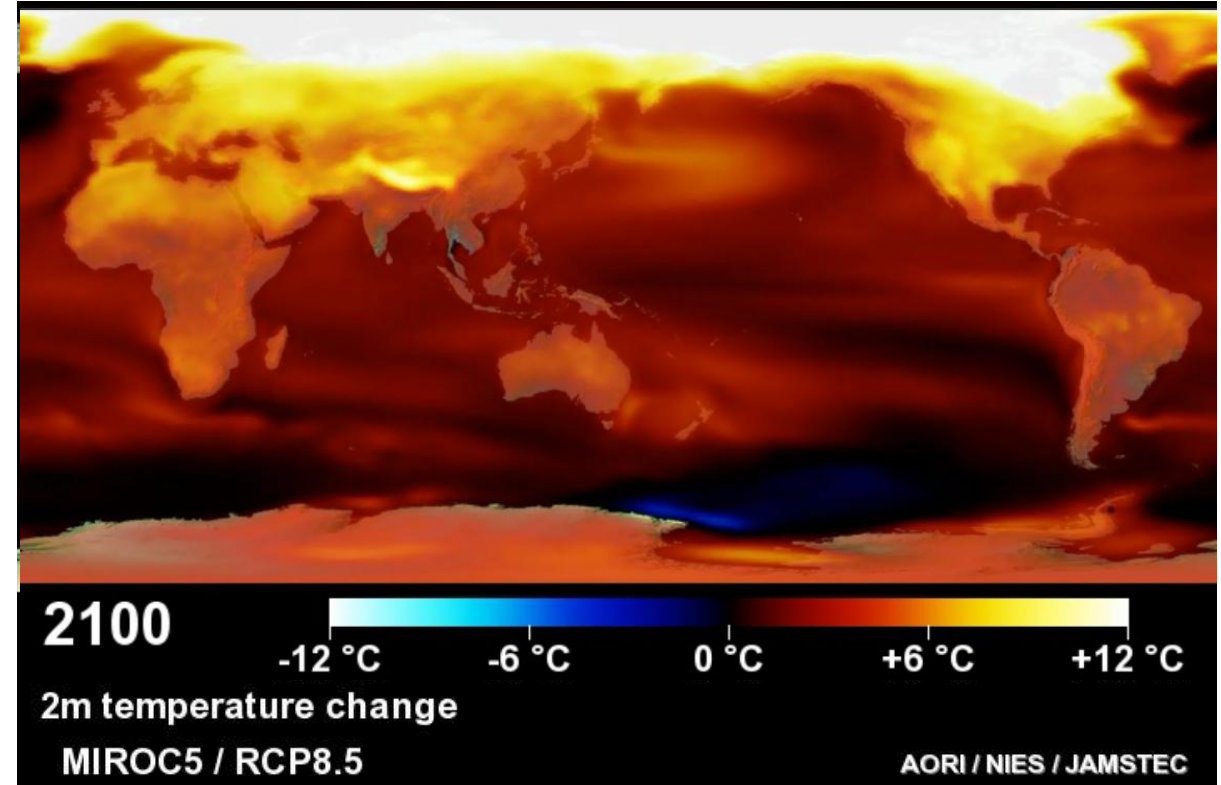


(IPCC AR6 SYR, Longer Report Fig.2.1a,c)

気温変化シミュレーション



「低い」シナリオ相当
(~+ 2 °C安定化)



「非常に高い」シナリオ相当
(対策無し、化石燃料依存)

MIROC5気候モデルによる (AORI/NIES/JAMSTEC/MEXT)



洪水

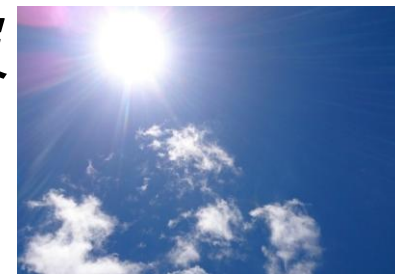


海面上昇



水不足

熱波



森林火災



食料不足



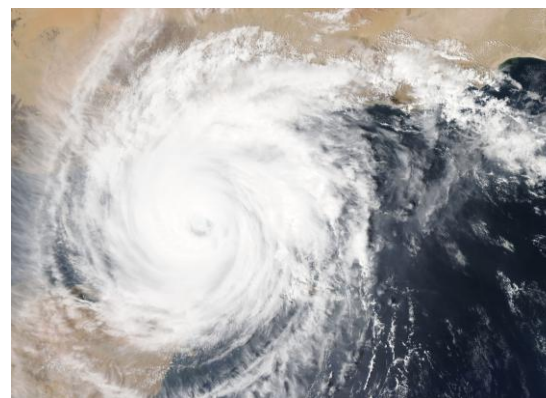
生態系の損失



感染症



温暖化で起きること



強い台風

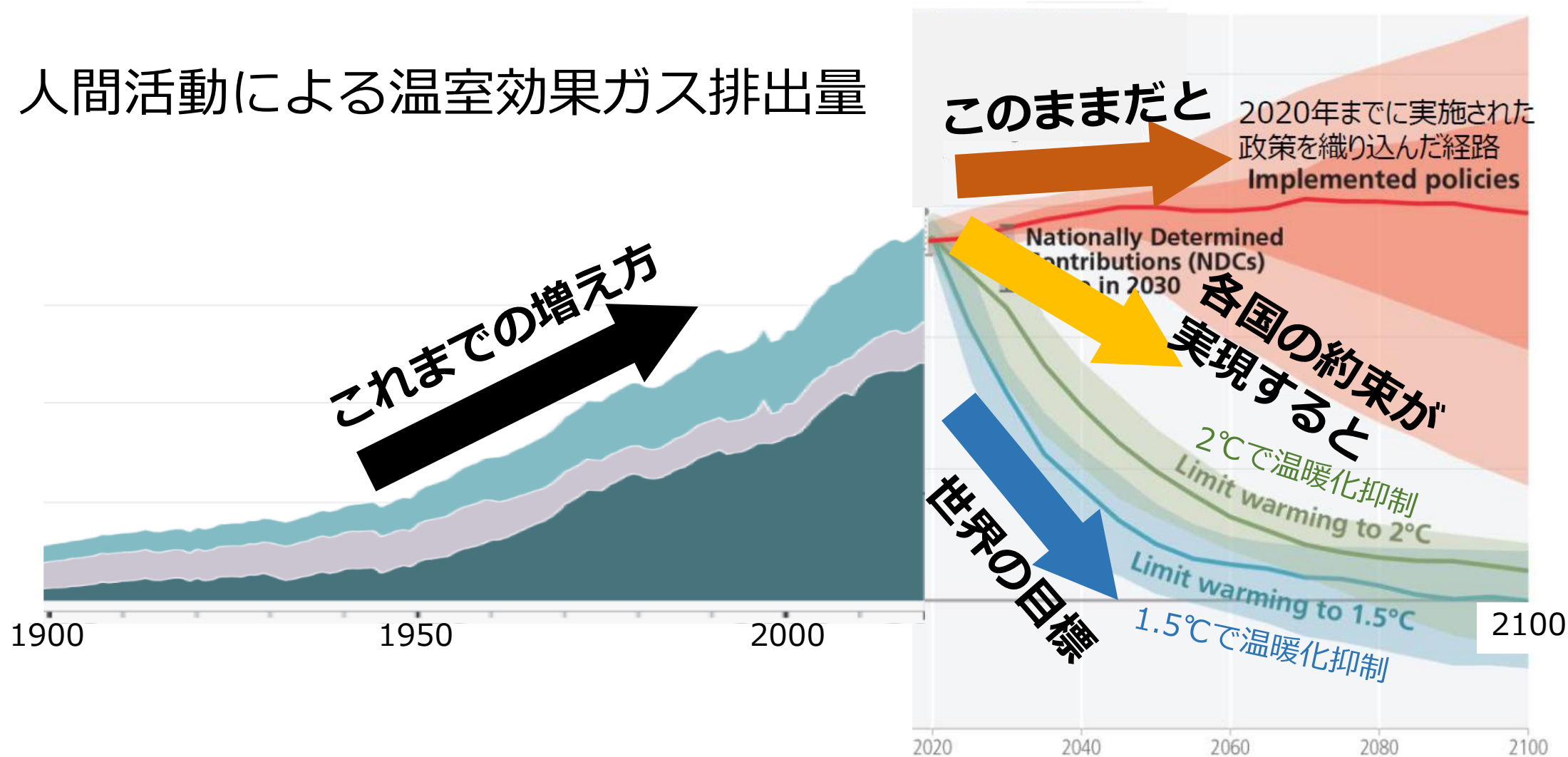
原因に責任の無い人たちが深刻な影響を受ける



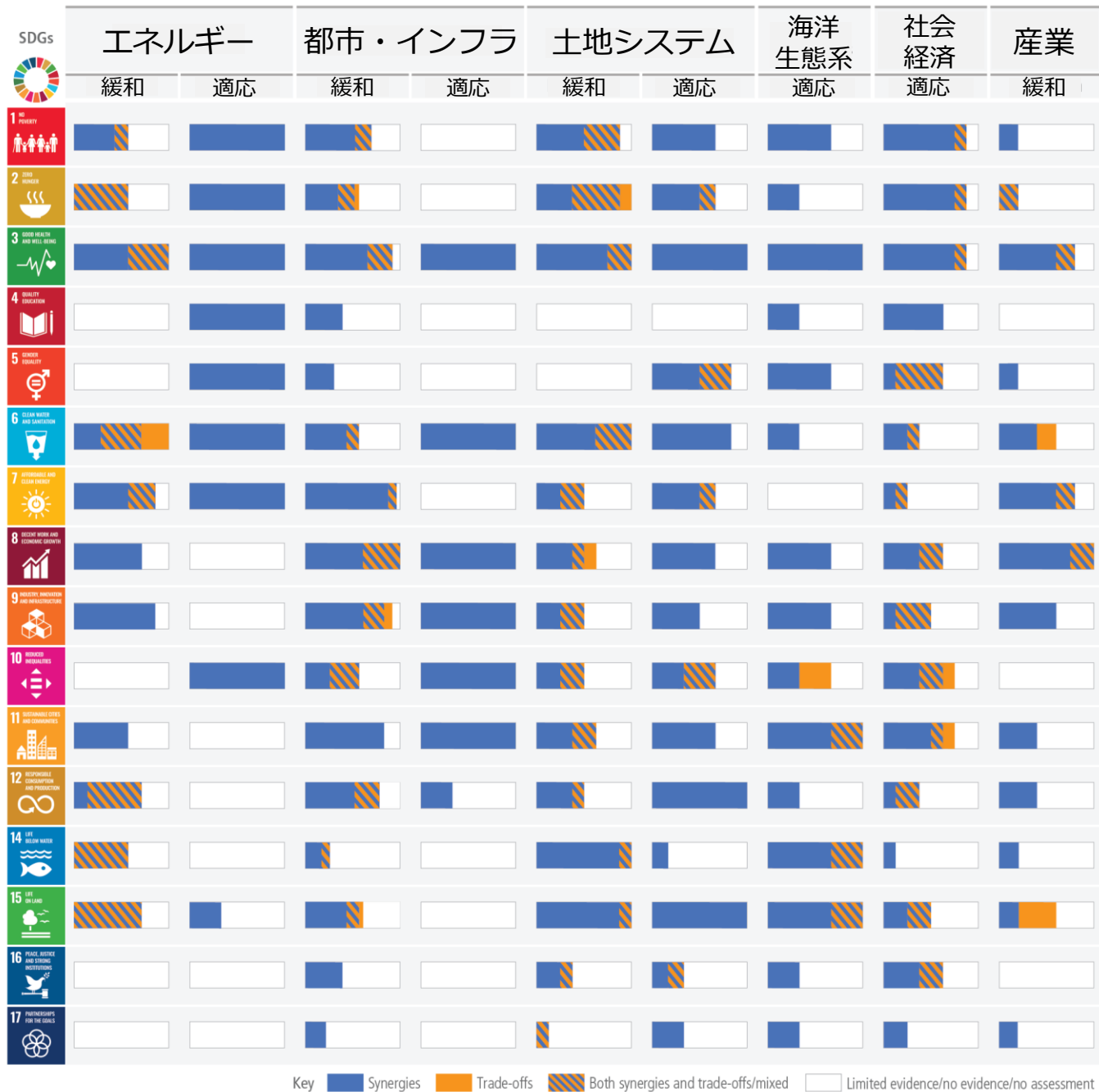
(IPCC AR6 SYR, Longer Report Fig.2.3b)

現状の排出削減ペースはまったく足りていない

人間活動による温室効果ガス排出量



(IPCC AR6 SYR, Longer Report Fig.2.1a, Fig.SPM.5a)

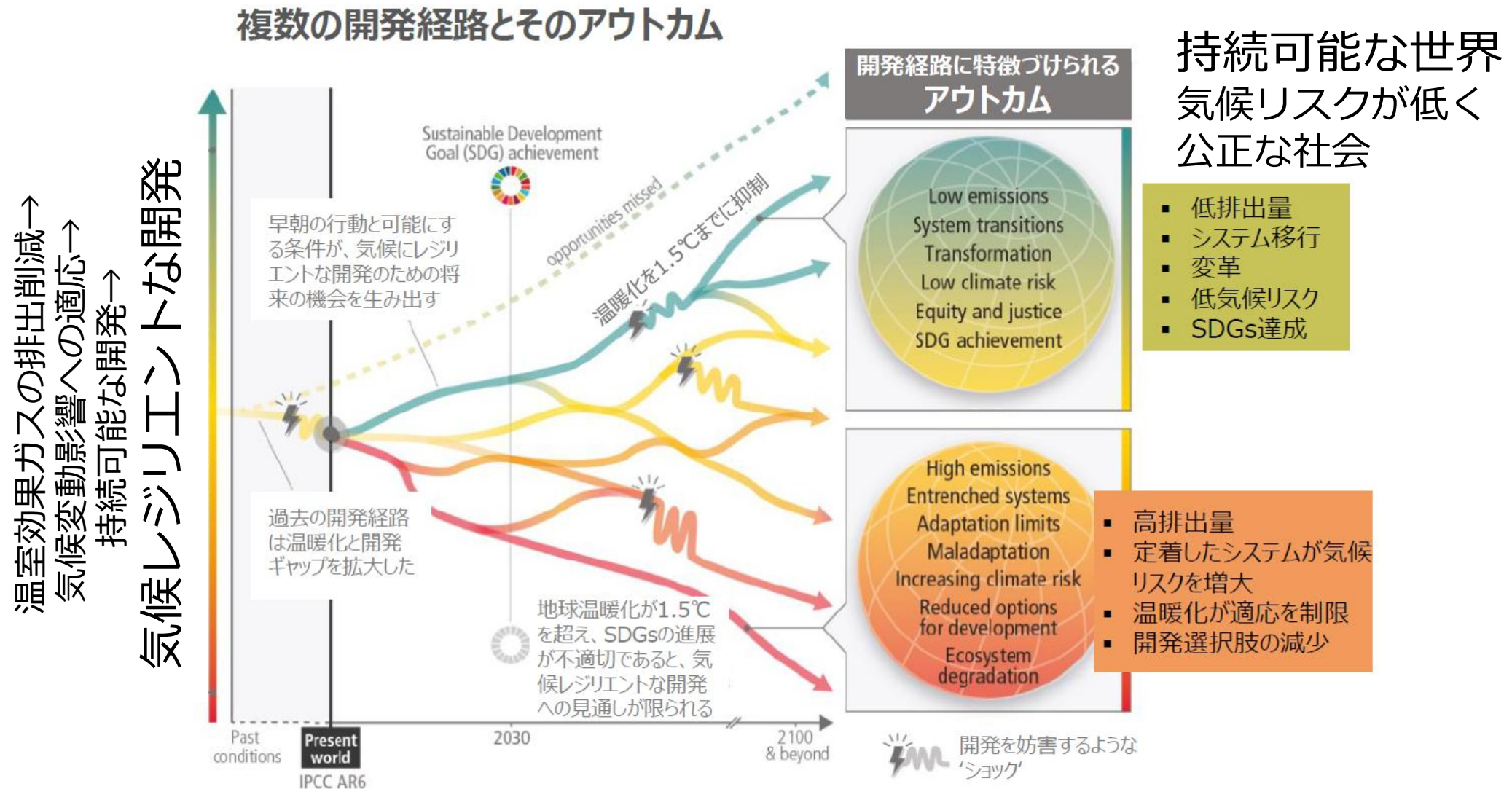


気候変動対策はSDGsとのシナジーが多い

- シナジー（相乗効果）
- トレードオフ（二律背反）

(IPCC AR6 SYR, Longer Report Fig.4.5)

選択と行動によって将来の世界が決まっていく

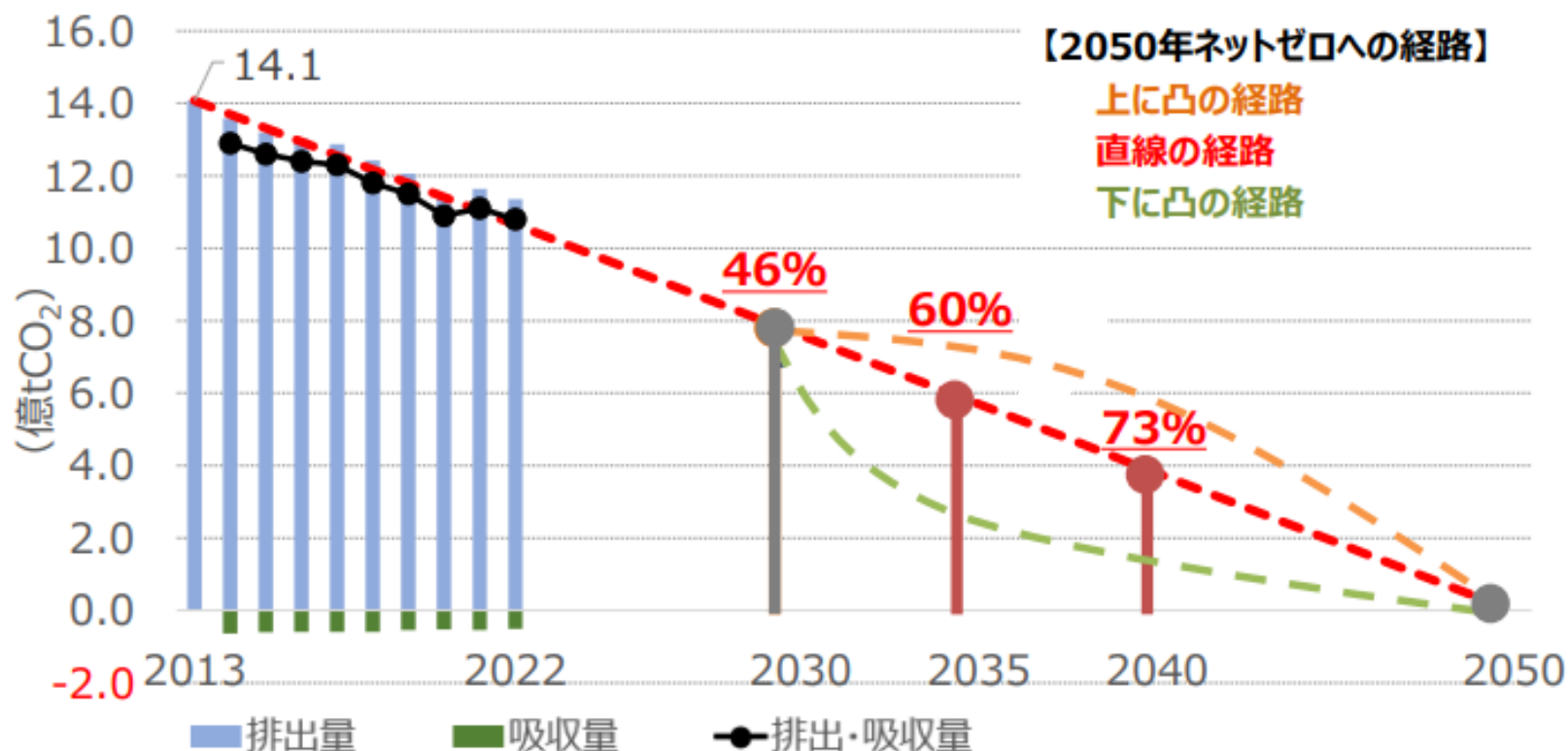


(IPCC AR6 SYR, Fig.SPM.6)

日本の削減目標がもうすぐ決定される

日本の排出削減の現状と次期NDC（Nationally Determined Contribution）水準

2030年度46%削減、2050年ネットゼロを堅持。その間の経路が論点。

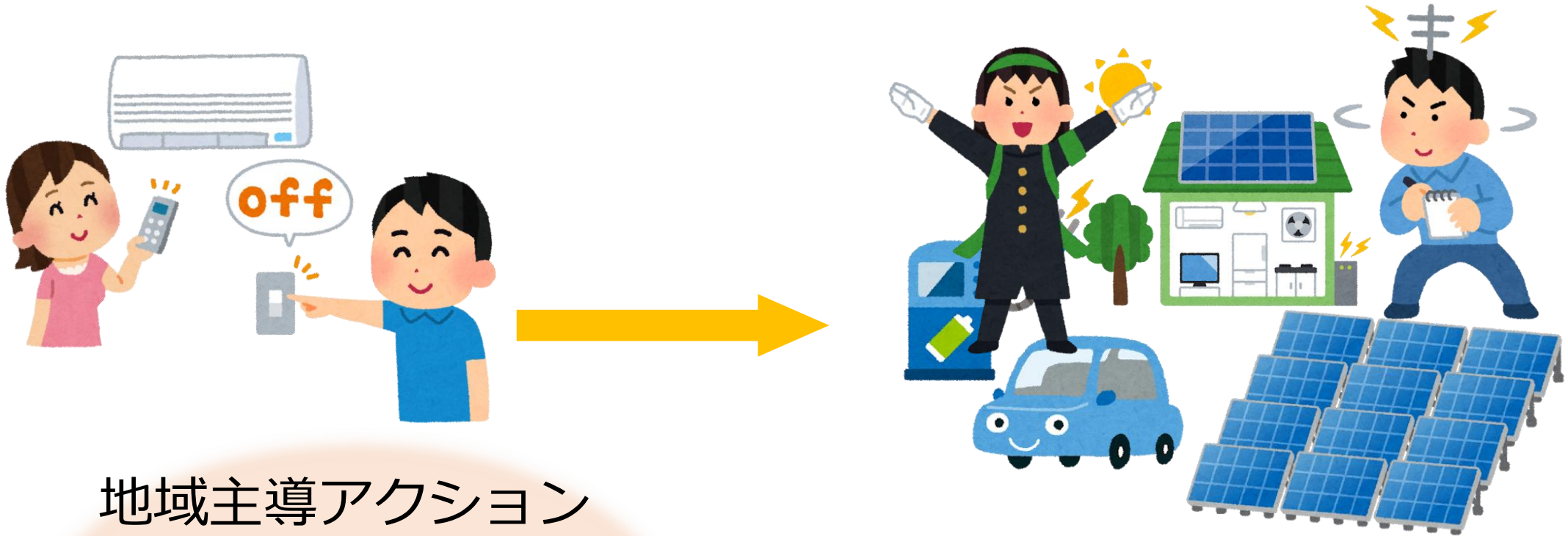


1/26までパブリックコメント受付中

温暖化対策計画 パブコメ



「わたしたちにできること」



地域主導アクション

- 国に先駆けた対策
- 地域の人々の声の反映
- 地域課題との同時解決
- 魅力的な地域づくり

- 対策が必要なことを理解する
- 対策が進むことに賛成する
- 進め方に疑問があれば意見を言う
- 対策が進まなければ声を上げる